

ヘルス

health



寝たきりの原因となる疾患の第1位は脳卒中、第2位が老衰、第3位は骨折といわれます。それらに共通する安静状態の継続が廃用症候群を引き起こします。これは使わないこ

とによる機能の衰え、低下も現れます。ほとんどの場合はいくつかに、体では筋肉や骨、関節、皮膚、心臓、消化器、尿路など多くの部分に生じます。筋萎

低下も現れます。ほとんどの場合はいくつかの症状が同時に存在し、相互に影響しあっている部分に生じます。筋萎

用群 廃症候

機能衰え招く 安静状態継続

縮や筋力低下、関節拘縮、皮膚の褥瘡(じょくそう)などをきたすとともに、意欲低下、認知症など精神機能の

廃用症候群は予防は もちろんですが、安静を必要とする状態が訪れたときは、一日も早く安静を必要とする前

の日常生活を取り戻すことが大切です。疾患の治療と同時に自宅でできるリハビリテーションにも配慮すると、廃用症候群は予防できます。退院直後や在宅療養中の状態悪化のため活動性低下が予想される場合には、訪問看護や訪問リハビリを検討してみたいかがでしょうか。(宮崎市・有限会社ケアプロジェクト代表 吉野喜裕)

いきいきネット